



さかさ通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかさ通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。寒さ厳しい毎日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて今回の「さかさ通信」第9号は、最近特に市民皆様や他市の方から聞かれることが多く、また先の阪南市議会でも数回議題に上がり、阪南市いや泉州全体の大きな関心ごととなっております、

産業廃棄物処分場

について書きたいと思えます。平成23年1月、事業者から和歌山市に提出された「産業廃棄物最終処分場設置に係る事業計画」を皮切りにたくさんの方々の住民運動、行政のやりとり、議会、委員会、住民説明会を経て現在に至っておりますが、これまでの経緯と、事業概要、現状とこれからについて紙面の許す限り詳しく分かります。書きたいと思えます。

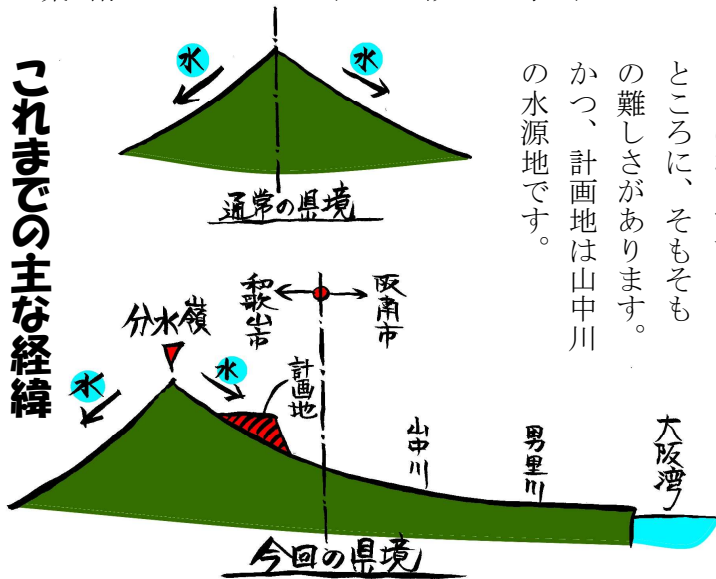
どんな計画?

和歌山市滝畑地区・上黒谷地区(阪南山中川の上流)で計画されている産業廃棄物の最終処分場です。処理するのは安定5品目 と呼ばれる ①廃プラスチック類 ②ゴムくず ③金属くず ④ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず ⑤がれき類 です。施設の埋め立て面積は17,333㎡(現在は9,774㎡に変更されています)。

ます。それでも甲子園の7倍)、現状の山林を整備し、産業廃棄物で谷を埋め、山積みしていく処理場です。何が問題なのか。

通常、分水嶺(ぶんすいれい)といつて水域の境目がある所の県境(行政境界)は便宜上、上の図のように分水嶺と境界が一致することが多いです。しかし、今回の事業計画地は下の絵のようになっている

ところに、そもそもの難しさがあります。かつ、計画地は山中川の水源地です。



これまでの主な経緯

- 平成23年1月 和歌山市において事業計画事前協議開始
- 2月 和歌山市より本市に関係法令について照会
- 4月 和歌山市にて事業計画説明会

- 7月 本市から和歌山市に意見書
- 7月 本市常任委員会にて説明
- 7月 和歌山市常任委員会現地視察
- 平成24年1月 本市と事業者が事前協議
- 1月 本市から和歌山市に追加意見
- 2月 事業者が地元住民説明会
- 6月 事業者が阪南市住民説明会
- 8月 東鳥取連合自治会が本市市長に要請書
- 9月 東鳥取連合自治会が和歌山市に要望書提出、本市市長も同行
- 平成25年12月 本市市議会議員・副議長(私)・厚生文教正副委員長で和歌山市議会に訪問
- 現在に至ります。

おとしし6月以降事業計画的には動きがありませんが、現在、和歌山市と事業者の間で事前協議中です。和歌山市事前協議中の具体的内容は、
・ 県道と歌山・貝塚線の接道部分
・ 山中川など河川の影響
・ 林道(農林業)への影響
・ 滝畑地区への水道、取水口への影響
以上4点において、協議中との事です。
住民運動においては和歌山市山口地区から始まった署名運動は現在、約14万人となりました。現在、阪南市東鳥取連合自治会が中心となって署名運動が続けられています。



ほぼ毎日更新中！

<http://blog.zaq.ne.jp/macjoe2/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



ご希望の方には
さかそう通信
郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ
お気軽に 上甲誠市政相談所へ



大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

これからの流れ

前述のとおり、現在和歌山市と事業者で「事前協議中」です。あくまで許可権者（許可できる人）は和歌山市なので、阪南市から公式にこの手続きの流れについて、どうこう言うことはできません。

- ① 事前協議が終了
- ② 生活環境影響調査

「ミニアクセスメント」と呼ばれるもので大気・悪臭・水質などの調査が行われます。

- ③ 紛争予防条例に基づく手続き

印刷物の配布、日刊新聞への掲載、住民への説明会などを通じて周知、関係住民から和歌山市への意見書、最終的に和歌山市と事業者の間で協定を結ぶまでの手続きです。

- ④ 施設設置の申請
 - ⑤ 設置許可
 - ⑥ 工事着工、完成
 - ⑦ 産業廃棄物処理施設の稼働
- こういう流れになります。

参考資料など

今まで、市議会に出てきている資料、市民の方々から頂いた資料、その他参考となる資料を抜粋して紹介します。

- ① 阪南市から和歌山市への意見

関係法令遵守、山中溪地区への交通安全

全対策、住民の意見を真摯に受け止め考慮せよ、山中川への水質影響、山林開拓で追われたイノシシの阪南市田畑への被害対策、山中溪地区のホタルへの影響対策、事業の阪南市への報告、以上抜粋ですが、たくさんの意見が出されています。

- ② 両市民の方々の声

前項の阪南市意見書と重複するものを除くと、安定型処分場でも重金属や発がん物質が検出される、搬入された廃棄物だが目視調査では有害物質を発見できない、阪南市の地場産業などへの深刻な影響が予想される、処分場の脆弱な地質と地形、将来起こりうる中央構造断層帯の大地震の影響、滝畑地区の水道への影響、男里川のアユを始めた皆さんの生物への影響、大阪湾唯一の男里川河口干潟や渡り鳥への影響、などが挙げられます。

- ③ 和歌山市孝子峠での反対運動

平成12年から平成16年にかけて行われた「和歌山市孝子峠の産廃中間処理施設建設反対運動」では、地元住民などが住民運動。市長へ不許可を要請。様々な協議・やり取りを経て途中は訴訟問題までに発展、最終的に建設計画は取り消されました。

- ④ その他の資料

日本弁護士連合会による「安定型産

業廃棄物最終処分場が今後新規に許可されないよう求める意見書（平成19年8月23日）や、中央環境審議会による「廃棄物処理制度の見直しの方向性（平成22年）」などが参考になります。

まとめ

最後に私の阪南市議会議員としての意見を述べさせていただきますと、私自身、産業廃棄物処理場というものの必要性は認識しているものの、今回の事業計画が阪南市の大切な宝である男里川・山中川の水源地に位置し、それらの川及び周辺環境に多大なる影響を与える可能性があることは看過できません。

子ども達、そのまた子ども達に阪南市をきちんと責任をもってバトンタッチするため、50年後100年後をしっかりと見据え、今できることを一つ一つ取り組みたいと思います。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも「生懸命頑張ります」。

ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲 誠を今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠